

2012年6月14日

内閣総理大臣 野田 佳彦様

全国消費者団体連絡会  
事務局長 阿南 久  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町 15  
プラザエフ 6階  
電話 03-5216-6024  
FAX03-5216-6036

**リオ + 20 サミットのプロセスを支持し、成果文書案（ゼロドラフト）の第 97 段落が保持されるよう支持をお願いします。**

全国消費者団体連絡会は、世界 115 カ国に 220 以上の会員を持つ消費者の国際的連合組織である国際消費者機構（Consumer International, CI）の会員です。CI の会員として、私たちは、6 月 20-22 日にブラジルで開催される国連持続可能な開発会議（リオ+20 サミット）に世界中の首脳が参加し、持続可能な未来を支えるための国際合意を推進するため、この貴重な機会を利用することを求めます。

CI は、持続可能な未来へと飛躍するために、消費者の権利と責務が極めて重要な役割を果たし得る、また果たさなければならないと信じています。人類の福祉と社会的公正を核心とするグリーン経済に移行する上で、私たち消費者が何をどのように消費するかはきわめて重要な役割を果たすものであり、私たちが個人ならびに集団として環境に対して及ぼす負の影響を徐々に減らしていく必要があります。

したがって、私たちは、すべての国の政府がリオ + 20 サミットに出席し、持続可能な消費パターンへと変化を促すための対策に賛同するよう求めます。特に以下の二点について、取り組みを進められることを要望いたします。

1. 国連消費者保護ガイドラインのセクション G（持続可能な消費の促進）の完全履行に取り組んでください。
2. 国連持続可能な開発委員会第 19 回会合交渉において記述された文書に基づき、持続可能な消費と生産（SCP）に関する国際協定の一貫として、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 年計画の枠組みを構築してください。

『私たちが望む未来』（成果文書案、ゼロドラフト）の第 97 段落では、すでに、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 ヶ年計画の枠組みの履行に関する合意について述べています。私たちは、この段落がそのまま最終合意まで変更なく維持されるよう日本政府が支持されるようお願いいたします。

あわせて、1992年の地球サミットで、ステークホルダーの主要グループとして9グループが認識されていますが、持続可能な開発に大きな役割を果たしている「消費者」をこの主要グループに加えることを希望いたします。

消費者にとって、商品やサービスに関する情報が少なく、時には誤解を生じるような情報を与えられ、効果的で明確な規制が欠如し、十分な選択もできない中で、私たち消費者にできることは限られています。消費者に効果的な行動を促すためにも、上記の対策が必要であると私たちは確信しています。

CIのリオ+20に向けたポジション・ペーパー（全文）は以下をご参照ください。  
<http://bit.ly/rUZZil>

上記についてご理解いただき、リオ+20サミットにご出席いただきますようお願いいたします。

敬具

2012年6月14日

環境大臣 細野 豪志様

全国消費者団体連絡会  
事務局長 阿南 久  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町 15  
プラザエフ 6階  
電話 03-5216-6024  
FAX03-5216-6036

**リオ + 20 サミットのプロセスを支持し、成果文書案（ゼロドラフト）の第 97 段落が保持されるよう支持をお願いします。**

全国消費者団体連絡会は、世界 115 カ国に 220 以上の会員を持つ消費者の国際的連合組織である国際消費者機構（Consumer International, CI）の会員です。CI の会員として、私たちは、6 月 20-22 日にブラジルで開催される国連持続可能な開発会議（リオ+20 サミット）に世界中の首脳が参加し、持続可能な未来を支えるための国際合意を推進するため、この貴重な機会を利用することを求めます。

CI は、持続可能な未来へと飛躍するために、消費者の権利と責務が極めて重要な役割を果たし得る、また果たさなければならないと信じています。人類の福祉と社会的公正を核心とするグリーン経済に移行する上で、私たち消費者が何をどのように消費するかはきわめて重要な役割を果たすものであり、私たちが個人ならびに集団として環境に対して及ぼす負の影響を徐々に減らしていく必要があります。

したがって、私たちは、すべての国の政府がリオ + 20 サミットに出席し、持続可能な消費パターンへと変化を促すための対策に賛同するよう求めます。特に以下の二点について、取り組みを進められることを要望いたします。

1. 国連消費者保護ガイドラインのセクション G（持続可能な消費の促進）の完全履行に取り組んでください。
2. 国連持続可能な開発委員会第 19 回会合交渉において記述された文書に基づき、持続可能な消費と生産（SCP）に関する国際協定の一貫として、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 ヶ年計画の枠組みを構築してください。

『私たちが望む未来』（成果文書案、ゼロドラフト）の第 97 段落では、すでに、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 ヶ年計画の枠組みの履行に関する合意について述べています。私たちは、この段落がそのまま最終合意まで変更なく維持されるよう日本政府が支持されるようお願いいたします。

あわせて、1992年の地球サミットで、ステークホルダーの主要グループとして9グループが認識されていますが、持続可能な開発に大きな役割を果たしている「消費者」をこの主要グループに加えることを希望いたします。

消費者にとって、商品やサービスに関する情報が少なく、時には誤解を生じるような情報を与えられ、効果的で明確な規制が欠如し、十分な選択もできない中で、私たち消費者にできることは限られています。消費者に効果的な行動を促すためにも、上記の対策が必要であると私たちは確信しています。

CIのリオ+20に向けたポジション・ペーパー（全文）は以下をご参照ください。  
<http://bit.ly/rUZZil>

上記についてご理解いただき、リオ+20サミットにご出席いただきますようお願いいたします。

敬具

2012年6月14日

外務大臣 玄葉光一郎様

全国消費者団体連絡会  
事務局長 阿南 久  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町 15  
プラザエフ 6階  
電話 03-5216-6024  
FAX03-5216-6036

**リオ + 20 サミットのプロセスを支持し、成果文書案（ゼロドラフト）の第 97 段落が保持されるよう支持をお願いします。**

全国消費者団体連絡会は、世界 115 カ国に 220 以上の会員を持つ消費者の国際的連合組織である国際消費者機構（Consumer International, CI）の会員です。CI の会員として、私たちは、6 月 20-22 日にブラジルで開催される国連持続可能な開発会議（リオ+20 サミット）に世界中の首脳が参加し、持続可能な未来を支えるための国際合意を推進するため、この貴重な機会を利用することを求めます。

CI は、持続可能な未来へと飛躍するために、消費者の権利と責務が極めて重要な役割を果たし得る、また果たさなければならないと信じています。人類の福祉と社会的公正を核心とするグリーン経済に移行する上で、私たち消費者が何をどのように消費するかはきわめて重要な役割を果たすものであり、私たちが個人ならびに集団として環境に対して及ぼす負の影響を徐々に減らしていく必要があります。

したがって、私たちは、すべての国の政府がリオ + 20 サミットに出席し、持続可能な消費パターンへと変化を促すための対策に賛同するよう求めます。特に以下の二点について、取り組みを進められることを要望いたします。

1. 国連消費者保護ガイドラインのセクション G（持続可能な消費の促進）の完全履行に取り組んでください。
2. 国連持続可能な開発委員会第 19 回会合交渉において記述された文書に基づき、持続可能な消費と生産（SCP）に関する国際協定の一貫として、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 ヶ年計画の枠組みを構築してください。

『私たちが望む未来』（成果文書案、ゼロドラフト）の第 97 段落では、すでに、持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 ヶ年計画の枠組みの履行に関する合意について述べています。私たちは、この段落がそのまま最終合意まで変更なく維持されるよう日本政府が支持されるようお願いいたします。

あわせて、1992年の地球サミットで、ステークホルダーの主要グループとして9グループが認識されていますが、持続可能な開発に大きな役割を果たしている「消費者」をこの主要グループに加えることを希望いたします。

消費者にとって、商品やサービスに関する情報が少なく、時には誤解を生じるような情報を与えられ、効果的で明確な規制が欠如し、十分な選択もできない中で、私たち消費者にできることは限られています。消費者に効果的な行動を促すためにも、上記の対策が必要であると私たちは確信しています。

CIのリオ+20に向けたポジション・ペーパー（全文）は以下をご参照ください。  
<http://bit.ly/rUZZil>

上記についてご理解いただき、リオ+20サミットにご出席いただきますようお願いいたします。

敬具